

昭和 SPレコードで迎れば 皇太子殿下御誕生

SPレコード収集家 ■ 城内 實

(一)

昭和八年という年は、西暦に直すと一九三三年にあたるが、この年は多くのドイツ人にとって十二年間にわたる「歴史の断絶」が始まつた誠に忌まわしい年として記憶に残つてゐる。なぜなら、一月三十日に、連立政権ではあるものの、ヒトラー内閣が発足、三月に帝国議会で全権委任法が通過し、ここにヒトラーの独裁体制が名実と共に確立したからである。

続く四月には関東軍は満州国と中華民国を分断すべく、いわゆる長城線を越えて華北に侵入するが、その後撤退、侵入を繰り返し、五月に塘沽停戦協定がようやく成立し、とりあえず満州と華北の国境線は確定する。その結果、大陸ではつかの間の安定期間に入ることになるが、同年三月の国際連盟脱退により、日本は国際的には孤立化の道を突き進むことになる。

昭和八年五月には「連盟よさらば」という曲が日本コロムビアから発売されているが（東京朝日新聞「今日の問題」子作詩、江口夜詩作曲）、このことは松岡の職業外交官らしからぬ派手なパーフォーマンスが当時のマスコミ、世間一般から拍手喝采されたことを如実に物語つてゐた。

(二)

しかし、昭和八年の流行歌の世界では、このような政治色、軍事色の濃い曲はまだまだ少なく、米国人バートン・クレーンの「のんきなパパさん」や日本二世の川畑文子の「青空」、「キューバの豆売り」、「ユカレレ・ベビー」といったバタ臭い娛樂曲が引き続き健在であった。

当時は、宝塚歌劇団、松竹歌劇団の全盛期でもあり、多くのレビュー曲がレコードに吹き込まれた。また、流行歌では、ミス・コロムビアの「十九の春」、松平晃の「サーカスの唄」、藤山一郎の「僕の青春（はる）」といった比較的明るい曲がヒットした。

(三)

（注：これらはいずれもナチス時代ではなく、ワイメアール時代末期に作成された映画である。なお、Ufa社のオーナーでもあった独のメティア王アルフレッド・フーゲンベルクは右派政党の國家人民黨の党首として、中央党的バーベン元首相らとともに初期のヒトラー連立政権に入閣したが、このことを知る人は意外と少ない。）

(四)

昭和八年という年は、その年の十二月二十三日皇太子継宮明仁親王の御誕生という日本国民が待ち望んでいた慶事があつたことでも特筆すべき年である。当時内親王が既にお三方おられたが、皇位繼承者たる皇太子殿下がまだであつたので、宮中の

同年十月には、オールドファンには懐かしい独 Ufa 社制作の映画「会議は踊る」「狂乱のモンテカルロ」（注）の主題歌、「命かけて只一度」、「歌あればこそ世は樂し」、「モンテカルロの一夜」、「これぞマドロスの恋」（いずれもハイマン作曲）の各曲を奥田良三が独ポリドールに吹き込み、その盤が日本で販売され、ラジオでも放送されて好評を博した。

（注：これらはいずれもナチス時代ではなく、ワイメアール時代末期に作成された映画である。なお、Ufa社のオーナーでもあった独のメティア王アルフレッド・フーゲンベルクは右派政党の國家人民黨の党首として、中央党的バーベン元首相らとともに初期のヒトラー連立政権に入閣したが、このことを知る人は意外と少ない。）

みならず、國民一般の喜びもひとしおであつた。

御誕生の時刻は午前六時三十九分、日の出とともに帝都にサ

イレンが響きわたつた。

その様子は、日本ビクターの北原白秋作詩、中山晋平作曲の「皇太子さまお生まれなつた」という童謡の歌詞からもはつきりとうかがえる。

日の出だ日の出だ

鳴つた鳴つたポーオポーオ

サイレンサイレン ランラン

チングン

天皇陛下 お喜び

皆々柏手 うれしいな母さん

皇太子さま お生まれなつた

日の出だ日の出だ
鳴つた鳴つた（以下同じ）

皇后陛下お大事に
皆々涙で有難うお日さま
皇太子さまお生まれなつた

日の出だ日の出だ

日本中が大喜び

皆々子供がうれしいな有難う
皇太子さまお生まれなつた

ビクターの「皇太子さまお生
まれなつた」の裏面には「可愛
いい皇子さま」という曲が吹き

込まれているが、それ以外にも
同じビクターから「皇太子殿下
御誕生奉祝歌」、「日の皇子（み
こ）様」という曲が作られ、ま
た、日本コロムビアからは「御
誕生御誕生」という曲が北原白

秋作詩、山田耕筰作曲、金子一
雄の歌で吹き込まれ、キング、
ポリドールからも同じような皇
太子殿下奉祝歌が発売された。

（五）

北原白秋が書いた「皇太子様
お生まれなつた」の歌詞にある
とおり、皇太子御誕生に「日本
中が大喜び」したのはまぎれも
ない事実である。

昭和八年十二月二十三日の朝
新聞の号外にも國民が歓喜に
と翻る國旗の波、隨所に起る萬

わいた様子が次のよう記され
ている。

「今ぞ仰ぎ奉る東宮殿下

榮光に輝やく大内山！全日本
にみなぎる歡喜！けふぞ國をあ
げてお待ち申上げた慶祝の日皇
后陛下には二十三日午前六時三
十九分目出度くも御安産遊ばさ
れ、皇太子殿下御誕生あらせら
れた、畏くも御母子御二方には
極めて御健やかにて御経過いと
御順調にわたせ給ふ、萬世一
系の皇位を繼がせらるべき皇太
子殿下の御誕生は全國津々浦々、
九千萬の民草を歡喜の絶頂に押
しあげた、東京市内十八ヶ所の

サイレンは高鳴る、戸毎にサツ

万世一系の「皇家」という我が
國の國體を護持する觀点から、
現代に生きる我々日本國民は、
昭和八年師走のこの慶事に思
を馳せつつ、皇太子同妃両殿下
のお世継ぎの御誕生を静かにお
待ち申し上げることとしたい。

（続く）

